

校長室から応援メッセージ(3)

令和8年7月10日(金)

「人生は出た所^{とこ}勝負！」

皆さん、こんにちは。夏休みが近づきました。10年以上前のことですが、「何とか会」というアルファベットの最後の文字をつけたある受験関連の会社が新聞広告に「明日からやろうと40回言うと夏休みは終わります」という一文を大きな文字で載せました。うまいことを言うと思う反面、変化球の励まして何だかなあとも思いました。

昨年この場で私は「夏を制する者は受験を制す!」、よく言われるこの言葉を掲げて話をしました。この言葉は夏休みを迎えるにあたっての意気込みを高めるにはいいのですが、学習の成果は自分では過小評価することが多いので次第に夏休み中の受験生を苦しめる言葉に変わっていきます。

この命題が正しいとして、「夏を制する」は十分条件です。必要条件ではありません。夏は制さなくても何とかなる、あるいは何とでもなる、ということです。力まなくても大丈夫。そこで、「に負けないでね。」とおまけをつけて話をまとめました。そもそも実際に「夏を制した」という人は、おそらくいないと思います。

「私はこの夏を制しました」という人は自分で枠をはめた世界を制しただけなのではないかと思います。机の上の世界は無限です。演習問題に向かう私たちの思考も無限です。無限と無限が向き合っています。どんなに勉強しても、もっとやれたのではという思いがつきまとうのは、そのためです。

皆さん、自分は夏を制しているのかどうなのか、など気にせず、また模試の成績がどうも…などと悩まないでください。自分という存在を、何をやったかの実績や何かの結果として示される数字で見るのは程々にしましょう。内側から湧き出てくる勢いのようなもので自分を感じてほしいと思います。

過去に対する後悔も、未来に対する不安も、すべてを捨てた無心の状態、仮にそういう状態になればの話かもしれませんが、そこには自然に勢いが生まれています。「人生は出た所勝負!」です。いきなり本番の舞台に立つ、この気合いが勢いです。受験は模試の偏差値よりもこの勢いのある人がうまくいっていると思います。以上、勢いのない私が申し上げてあまり説得力がなかった今回のメッセージを終わります。